

令和5年度 第3回トライ！生駒子ども読書会議 基調講演

電子書籍を考える

子どもの読書を中心に



社会がデジタル化する今日、今後、電子書籍はさらに普及していくでしょう。電子書籍を恐れるのではなく、しっかり知り、うまく向き合っていくことが大切です。

この講演では、電子書籍出版の現状、音声読み上げ機能など電子書籍ならではの特性、学校における一人一台端末環境と読書活動との関係など具体例を交えて紹介しつつ、子どもの読書における電子書籍との向き合い方を考えたいと思います。

講師 専修大学文学部教授 野口 武悟氏

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士課程修了、博士（図書館情報学）。専門は図書館情報学（主に、子どもの読書活動、電子図書館、読書バリアフリー等の研究）。現在、放送大学客員教授、NPOブックスタート理事、日本特別ニーズ教育学会理事なども務める。

主な著書に、『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2022：これまでの10年とこれからの10年』（樹村房、2022年）、『変化する社会とともに歩む学校図書館』（勉誠出版、2021年）、『改訂 図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供に向けて』（樹村房、2021年）など。



3月7日（木） 15:00～16:30



会場

市民ホール
生駒市図書館



定員

400名

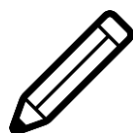


費用

無料



＼託児もあります／



申込

申込フォーム
市内図書館・図書室へ直接/電話



後日Web配信

要申込(申込締切：3/17)
視聴期間：3/21～4/21



問合せ：生駒市図書館（0743-75-5000）